

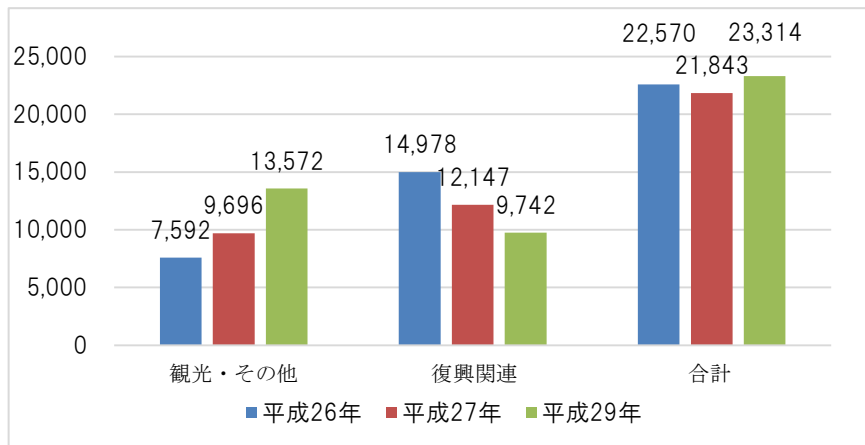
気仙沼観光マーケティングレポート(平成 29 年 1 月修正版)

◆今月のピックアップ

- ・平成 29 年 1 月を過去の 2 年と比較すると、宿泊人数は増加しているが、物販施設、観光施設の利用人数が減少している。
- ・客室稼働率が、52.6%と全国平均を 1 ポイント上回る。

1. 宿泊

(1) 宿泊人数

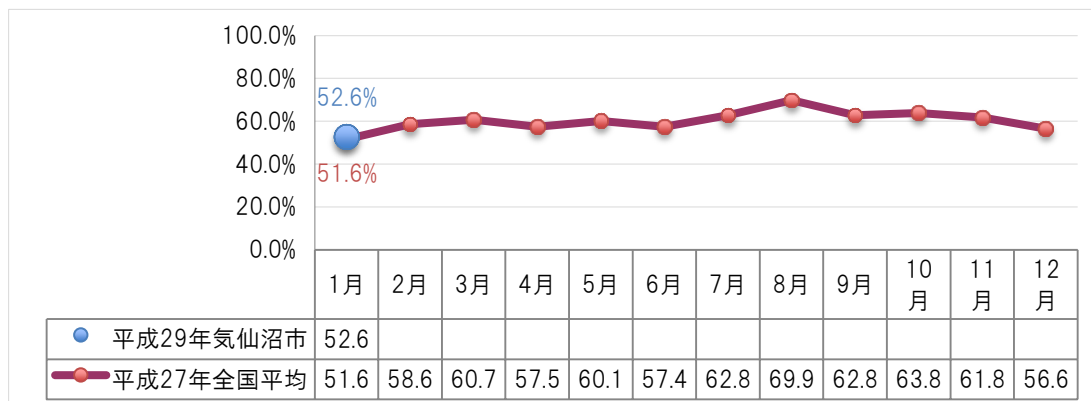


(単位:人)

宿泊者数	平成 26 年 (1 月)	平成 27 年 (1 月)	平成 29 年 (1 月)
観光 (その他)	7,592	9,696	6,119 (7,453)
復興関連	14,978	12,147	9,742
合計	22,570	21,843	23,314

※平成 29 年より「その他(主に復興事業以外のビジネス客)」の項目を増やし調査しております。

(2) 客室稼働率



《参考データ》

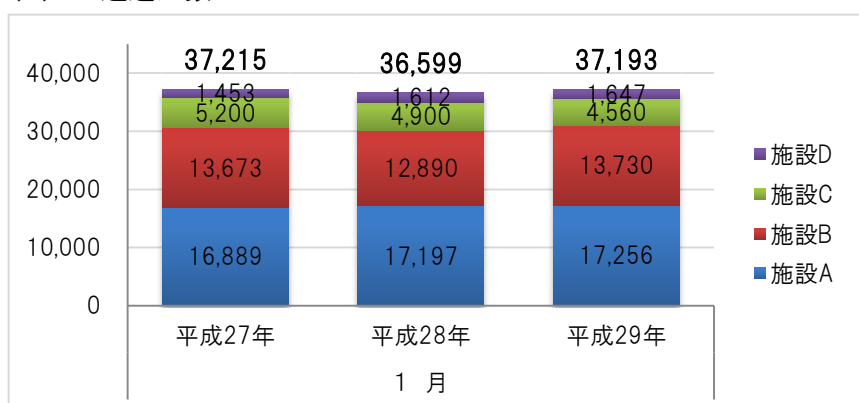
宿泊施設タイプ別 (全国平均)	平成 27 年 (1 月)
旅館	31.8%
リゾートホテル	48.2%
ビジネスホテル	65.0%
シティホテル	68.2%
簡易宿所	21.6%

※平成 27 年全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(平成 27 年・年間値(確定値))より

- ・平成 29 年 1 月の観光・その他の割合は全体の約 58%となっており、そのうち観光客は半数に満たない約 45%となっている。
- ・客室稼働率(全体)は、全国平均を若干上回っている。

2. 物販施設

(1) レジ通過人数



(単位:人)

物販施設	平成 27 年 (1 月)	平成 28 年 (1 月)	平成 29 年 (1 月)
施設 A	16,889	17,197	17,256
施設 B	13,673	12,890	13,730
施設 C	5,200	4,900	4,560
施設 D	1,453	1,612	1,647
総計	37,215	36,599	37,193

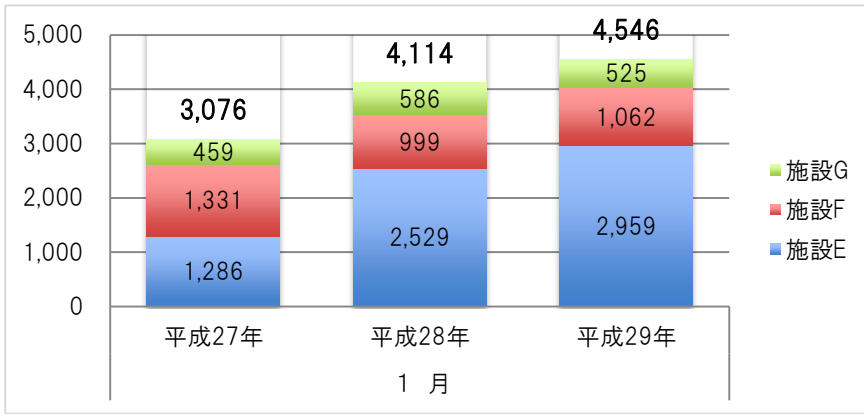
- ・物販施設のレジ通過者は、前年同時期と比較すると全体で約 1.6%増加している。

3. 観光施設

(1) 利用人数

(単位:人)

(単位:人)



観光施設	平成27年 (1月)	平成28年 (1月)	平成29年 (1月)
施設E	1,286	2,529	2,959
施設F	1,331	999	1,062
施設G	459	586	525
総計	3,076	4,114	4,546

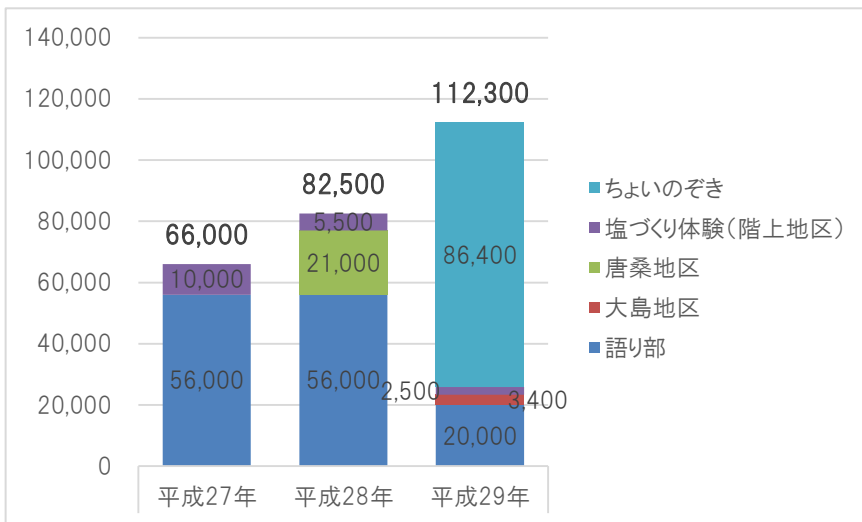
・観光施設の利用者は、前年同時期と比較すると全体で、約10%増加している。

4. アクティビティ体験

(1) 体験金額

(単位:円)

(単位:円)



アクティビティ	平成27年 (1月)	平成28年 (1月)	平成29年 (1月)
語り部	56,000	56,000	20,000
大島地区	0	0	3,400
唐桑地区	0	21,000	0
塩づくり体験(階上地区)	10,000	5,500	2,500
ちよいのぞき	0	0	86,400
合計	66,000	82,500	112,300

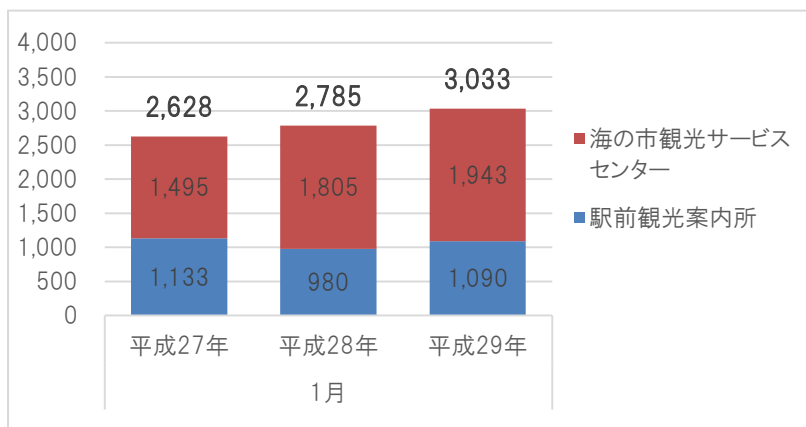
・各地域において、震災の風化による語り部等の震災関連コンテンツの需要減少から、全体的に減収傾向が見られる。一方で新規の取り組みとして、『ちよいのぞき』が加わり売上を伸ばしている。

5. 観光案内所

(1) 利用人数

(単位:人)

(単位:人)



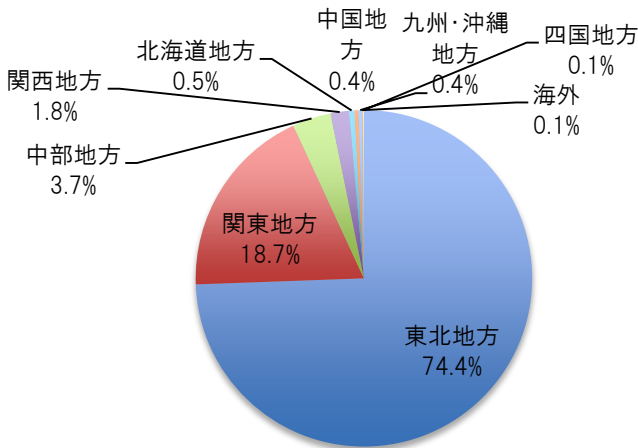
観光案内所	平成27年 (1月)	平成28年 (1月)	平成29年 (1月)
駅前観光案内所	1,133	980	1,090
海の市観光サービスセンター	1,495	1,805	1,943
合計	2,628	2,785	3,033

・観光案内所の利用人数は、前年同時期と比較すると全体で、約10%増加している。

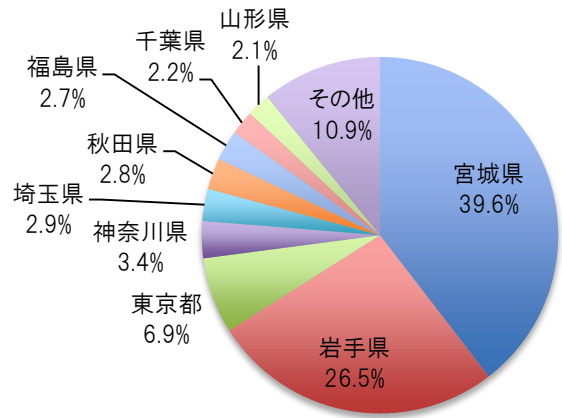
6. 来訪者動向(2016年5月～2017年1月)

※アンケート調査による(主に海の市にて8回実施)

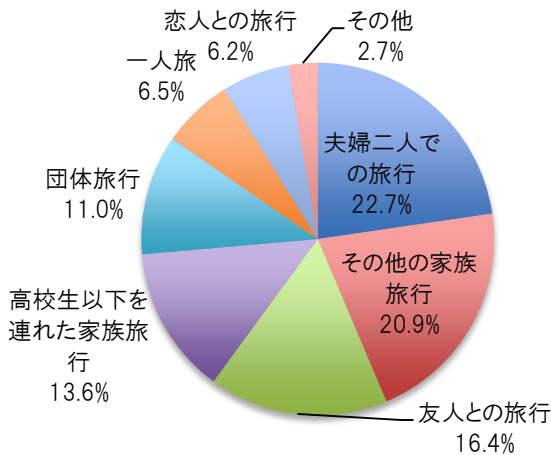
(1)エリア別 N=1130



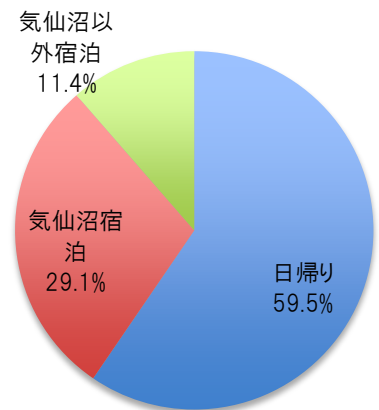
(2)都道府県別 N=1130



(3)同行者 N=1084



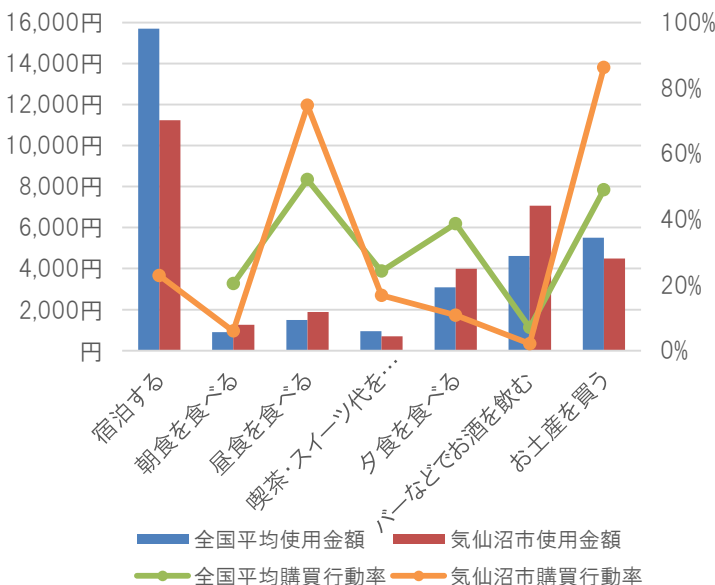
(4)宿泊率 N=1122



・来訪者は、東北地方、関東地方で、約93%を占める。都道府県別では、宮城県、岩手県で約66%を占める。
 ・同行者は、「夫婦二人での旅行」が22.7%と一番多く、次いで「その他の家族旅行」が続く。
 ・気仙沼宿泊率は、約30%となっており、更なる上昇が課題。

(5)気仙沼市内で使用した(使用する)金額、購買行動率 ※飲食や買い物等、各項目でお金を使用した人の割合

※じゃらん宿泊者データより



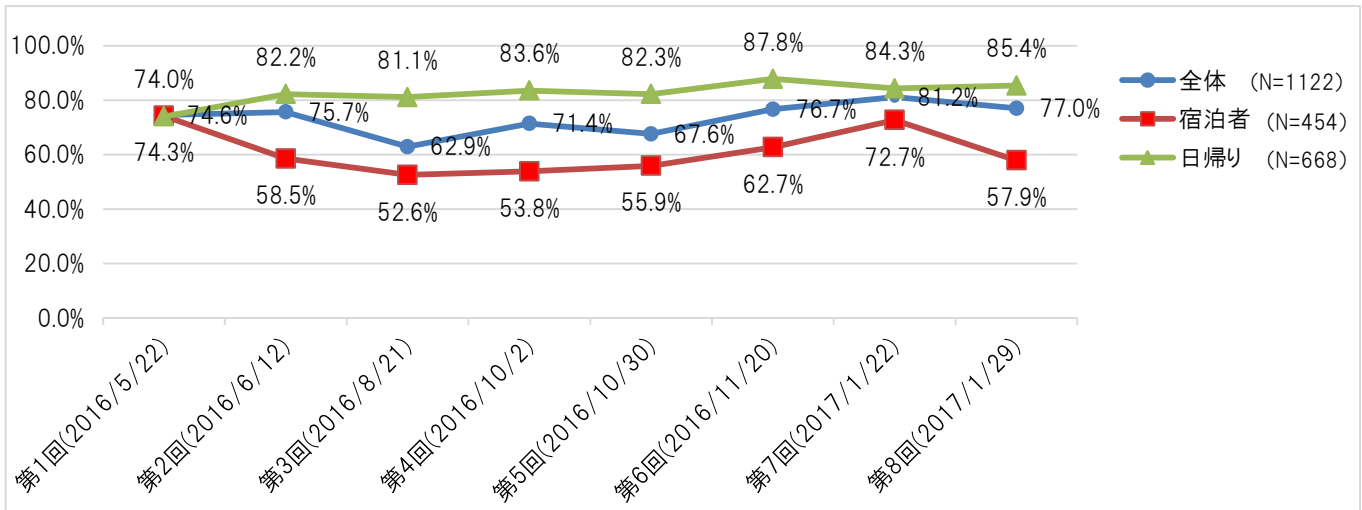
	宿泊	飲食				買い物	
		朝食を食べる	昼食を食べる	喫茶・スイーツを食べる	夕食を食べる		
全国平均購買行動率		20.4%	52.1%	24.2%	38.7%	7.0%	49.0%
気仙沼市購買行動率	22.9%	6.0%	74.7%	16.8%	10.7%	2.1%	86.3%
全国平均使用金額	15,700円	900円	1,490円	950円	3,090円	4,610円	5,500円
気仙沼市使用金額	11,230円	1,258円	1,883円	702円	3,997円	7,065円	4,488円

・使用金額は、全国平均と比べて朝・昼・夕食の金額は高いが、宿泊、お土産の金額は低い。
 ・購買行動率は、全国平均と比べて昼食、お土産の行動率が高い。

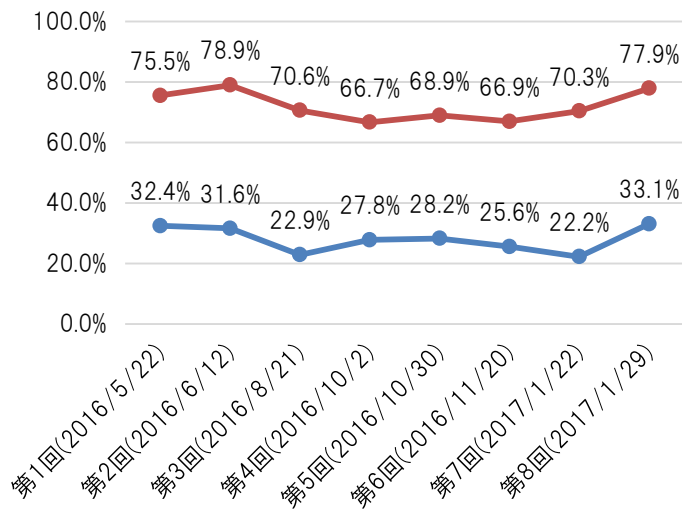
7. 観光客の声(2016年5月～2017年1月)

※アンケート調査による(主に海の市にて8回実施)

(1) リピート率



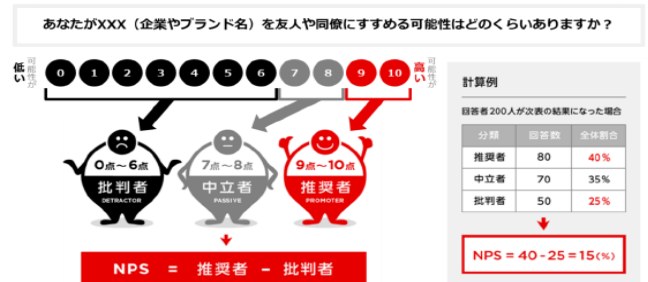
(2) 観光客満足度



(※)NPS

Net Promoter Score®の略で、顧客ロイヤリティを測る新しい指標。欧米の公開企業ではすでに3分の1以上が活用しているとも言われ、日本でも従来の顧客満足度に並ぶ新たな指標として注目を浴びている。

Net Promoter Score® 算出方法



・リピート率の平均は全体で約72%、宿泊者のみで約61%、日帰りでは約83%となっている。

・観光客満足度は、従来型では約70%以上が「また気仙沼に行きたい」と回答しているのに対し、NPS(*)での推奨者は30%前後に留まっている。

(3) アンケートの声

カキ小屋に行ったら、大きくて美味しかった(松島よりも!!)
(登米市 40代女性。
子供含む4人で日帰り旅行)

観光MAPにおすすめの食事ができるお店の記載が少ない。気仙沼駅前にパネルがない(観光案内)。
駅と海の市に大きいものがほしい、来るまでにもあったらなあ…わかりやすく。
(千葉県 50代男性一人旅。気仙沼初訪問)

北上から結構近い!!
(北上市 40代女性二人の旅行。
気仙沼は3回目。
今回気仙沼で二人で82,000円使用)

『～が復活した』という情報は来なくなる。今回は海の市。被災地ならではのPRを…。
(大崎市 40代女性。
家族6人で日帰り旅行)

隣町だからあえて。
観光拠点は、南三陸の『ポータルセンター(震災・町民の頑張り)』を意識すべき。
共感を持たせる仕掛けが南三陸は上手。
(一関市 50代夫婦。子連れの3人旅行)

本レポートに関するご質問、改善のご提案は、以下までご連絡ください。

【お問い合わせ先】気仙沼市産業部観光課 0226-22-3438 kanko@kesenuma.miyagi.jp